

氏名	川俣 実	部署	作業法学科	職名	教授
研究分野	発達障害、動作分析				
学位	学士(教育学)、児童学修士(児童学)				
学歴	1981年埼玉大学教育学部卒、1988年国立療養所犀潟病院附属リハビリテーション学院作業療法学科卒、2011年聖徳大学大学院 児童学研究科 博士前期課程卒				
経歴	1988年埼玉県立小児医療センター作業療法士、2000年埼玉県立大学非常勤講師、2006年～2019年.3月まで埼玉県立大学作業療法学科准教授、2019年4月より同学科教授				
所属学会（役職）	日本感覚統合学会（教育指導部FD研修統括）、日本作業療法士協会、日本LD学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	作業療法士が参加した発達健診後の発達支援事業について	単著	あり		埼玉作業療法研究、19巻、24-32	川俣実
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	作業療法学概論		1	発達期における作業療法の目的、対象、関わりについて、インターネットオンデマンド配信教材を作成した。		
2	作業療法運動学		7	運動の見方、体幹・骨盤・下肢の関節運動、姿勢・動作分析について、オンラインによる事前教材提示後ライブ授業を実施した。		
3	発達期作業療法学		2	発達障害の知覚・認識、運動、社会心理の評価方法について、オンライン事前教材提示後ライブ授業を実施した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	臨床作業療法演習		3	体の平衡反応の検査方法について演習を行い、OSCEの試験官監督及び再試験の試験監督を行った。		
2	地域作業療法学演習		1	地域での発達障害の作業療法について、授業を行った。		
3	作業療法ゼミナール		7	割り当てられた履修生3名の卒業研究ゼミナールの指導をオンラインで行った。		
4	発達期作業療法学特講	○	15	ビデオ事例を持ちいて、作業療法の評価と治療方針について、遠隔ライブで、グループワークを使い授業を行った。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	作業療法運動学実習		9	体幹・骨盤・下肢の骨、筋の名称、関節運動、姿勢・動作分析について、ビデオ教材を作成して、オンデマンド配信後ライブ授業を行った		

2	作業分析学実習	○	17.5	人々の生活行為を評価するために用いられる動作分析、活動分析、対人交流分析、作業分析などの分析方法について、インターネットライブ授業と、一部学内授業を学生を半数に分けて行った。
3	発達期作業療法学実習	○	22.5	合計8コマの2事例のビデオ教材をオンデマンド配信した後、インターネットライブ授業によって、子どもと関わり方、発達と行動の見方について授業を行った。 小児の作業療法士と関連職種である理学療法士をゲストスピーカーとして招聘し、臨床活躍についてオンデマンド講義を企画した。
4	臨地体験実習（身体機能）		2021.2～2021.3	実習中、実習地への中間訪問を2施設行い、学生と実習指導者と連絡調整を行った。
5	臨地実習Ⅰ-3(地域領域)		2021.2～2021.3	実習施設に行った学生と臨地実習指導者との連絡調整を行った（4施設）。実習施設に行けなかった学生5名に対して、実習の目標を達成できるようにオンデマンド教材、ビデオ教材などを用意して遠隔ライブ授業を行った。
6	臨地実習Ⅱ-2（精神機能領域）		2020.6～2020.9	前期と後期の7週で3名ずつ合計6名の学生を担当して、インターネット遠隔授業をした。
7	IPW実習	○	2020.9～10	主任科目責任者として、紙面事例を使つてのインターネット遠隔授業の計画と実施を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業研究		2020.4～2021.3	主指導 6名 副指導 0名
2	修士論文			主指導（指導教員） 0名 副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文			主指導（指導教員） 0名 副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床医学Ⅰ（作業療法学）		2020.12	国立障害者リハビリテーションセンター言語聴覚士養成課程の講義を、三密を避けた形態で、面接授業を行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	各種相談		埼玉県立大学 地域産学連携センター	出張！ 育児相談会 ～作業療法士による～ 研修会等を3回開催した。 2020.11～2021.3
2	厚生労働省指定臨床実習指導者講習会（埼玉県講習会）		埼玉県作業療法士会	ファシリテータとして講習会のグループワークを指導 2020.8～2021.1
3	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修		埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害児の感覚の受け取り方の違いに応じた感覚運動遊びの提案のまとめ及び解説（配信動画作成） 2020.9～2020.11
4	高校出張講座		埼玉県立大宮南高等学校	発達障がい疑似体験 2020.10
5	地域連携講座		埼玉県発達障害総合支援センター	発達障害への対応について 作業療法士の立場から（配信動画作成） 2021.1～2021.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	埼玉県作業療法士会		幹事	2020.4～2021.3
2	埼玉県作業療法士会		機関誌編集部員、学会演題査読委員	2020.4～2021.3
3	日本感覚統合学会		代議員	2020.4～2021.3
4	日本発達障害ネットワーク		理事	2020.4～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目		相手方等	内容 期間

1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員	2020.4～2021.3
2	学科等における委員会等	学科内教務担当	2020.4～2021.3
3	学生支援	3年生学年担当	2020.4～2021.3
4	学科等における委員会等	臨地実習総括	2020.4～2021.3
5	学科等における委員会等	副学科長	2020.4～2021.3
6	学生支援	学生団体 弾き語りサークルC7 顧問	2020.4～2021.4
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			